

製品安全データシート
[混合物用（塗料用）]

整理番号:00536203-02-A081

製造者情報 会社名:アトムサポート株式会社
住所:〒174-0041 東京都板橋区舟渡3-9-6
担当部門:商品部 担当者:渡辺 博志
電話番号:03-3969-3160 FAX番号:03-3969-3165
緊急連絡先:商品部 電話番号:03-3969-3160
作成者:須田 敏和 作成、改訂:2008.12.06.

製品の特定 製品名 メタリックスプレー グリーン
製品説明 種類:アクリル樹脂塗料（エアゾール製品）
主な用途:金属・木材製品

物質の特定 成分及び含有量（危険有害性物質を対象）

成分名	CAS No.	含有量%	備考
キシレン	1330-20-7	17	PRTR 1種(63)
エチルベンゼン	100-41-4	17	PRTR 1種(40)
ブチルセロソルブ	111-76-2	1～5	労安法 MSDS 基準
塩素化フッ化シエンゲリン	1328-53-6	1～5	労安法 MSDS 基準
n-ブチルアルコール	71-36-3	5～10	労安法 MSDS 基準
ジメチルエーテル	115-10-6	30～35	可燃性ガス
プロパン	74-98-6	1～5	可燃性ガス
ホルマルデヒド	106-97-8	1～5	可燃性ガス
イソブタン	75-28-5	1～5	可燃性ガス

危険有害性の分類 分類の名称 引火性液体・可燃性ガス・急性毒性物質

危険有害性コメント

- ☆非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。
- ☆有機溶剤中毒をおこす恐れがある。
- ☆高圧ガスが入っている。加熱・衝撃等により破裂する危険性がある。

応急措置

目に入った場合

- ☆直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ☆出来るだけ速く医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

- ☆付着物を布にて素早く拭き取る。
- ☆大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
- ☆外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。

吸入した場合

- ☆蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けること。
- ☆蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当を受けること。

飲み込んだ場合

- ☆誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- ☆嘔吐物は飲み込ませないこと。
- ☆医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

製品安全データシート
[混合物用（塗料用）]

整理番号:00536203 -02 -A081

火災時の 措 置	使用可能消火剤 水 [×], 炭酸ガス [○], 泡 [○] 粉末 [○], 乾燥砂 [○], その他 [] 消火方法 ☆適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。 ☆可燃性のものを周囲から、速やかに取り除くこと。 ☆水を消火に用いてはならない。 ☆指定の消火器を使用すること。 ☆火災の現場にエアゾール製品があると、爆発する恐れがあるので、消火活動には距離を十分に取ること。 ☆高温にさらされる製品容器に、水をかけて冷却する。 ☆消火活動は風上より行う。
漏出時の 措 置	☆付近の着火源・高温体及び可燃物を速やかに取り除く。 ☆着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。 ☆衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。 ☆乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。 ☆漏れ発生時には、風上より処置を行うようにし、容器の漏出部は上向きにし、完全に噴射してから処置をする。 ☆作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。 ☆漏出物は、密閉出来る容器に回収し、安全な場所に移す。 ☆付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をすること。 ☆振とうすると内容物が噴出する恐れがあるので、注意して取り扱うこと。
取扱、保管 上の注意	取扱上の注意 ☆周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 ☆静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）を使用する。 ☆工具は火花防止型のものを使用する。 ☆作業中は帯電防止型の作業服、靴を使用する。 ☆使用済みウエス、塗料カス、スプレーダスト等は廃棄するまで水に漬けておく。 ☆密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。 ☆換気の良い場所で取り扱う。 ☆炎に向けて使用しないこと。 ☆温度が高くなると引火性があるので注意する。 ☆40℃以上の所では取り扱わないこと。 ☆火気のある所では取り扱わないこと。 ☆40℃以上に暖めないこと。 ☆30 秒以上の連続使用をしないこと。 保管上の注意 ☆火気、熱源から遠ざけて保管する。 ☆日光の直射を避ける。 ☆通風の良いところに保管する。 ☆40℃以上の所で保管しないこと。 ☆水回りや湿度の高い所に保管すると容器が腐食して破裂の恐れがあるので、保管場所に注意すること。
暴露防止 措 置	設備対策 ☆取扱設備は防爆型を使用する。 ☆排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。 ☆取扱場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれられないような設備とすること。 ☆屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置などにより作業者が暴露から避けられるような設備とすること。 ☆タンク内部の密閉場所で作業をする場合には密閉場所、特に底部まで十分に換気出来る装置を取り付けること。

製品安全データシート
[混合物用（塗料用）]

整理番号:00536203-02-A081

暴露防止
措置

保護具

呼吸系の保護: ☆有機ガス用防毒マスクを着用する。
☆密閉された場所では送気マスクを着用する。

目の保護: ☆保護メガネを着用する。

皮膚の保護: ☆有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

その他の保護: ☆特になし。

製品の物理
／化学的

状態

液体[○], 気体[—]
固体:固形状[—], 粉末状[—], ペースト状[—]

性質

色: グリーン
沸点: -42.1°C
密度(比重): 塗料 0.91
臭気: 溶剤臭、刺激臭
蒸気圧: 1275000 Pa (20°C)
pH値: 該当しない
その他: ☆液化ガス含有 (約 45%)

危険性情報

製品特数 引火点: (噴射剤/塗料) $-104^{\circ}\text{C}/28^{\circ}\text{C}$ 発火点: 367°C
爆発限界: (下限) 1.1%, (上限) 11.25 %

反応性・安定性情報

接触により危険性のある物質: ☆酸化剤

燃焼などによる有害ガス発生: ☆CO、NOx などが発生する。

その他の反応性情報:

その他の危険性情報

☆常温温度で缶内圧は約 $4.5\text{ Kg}/\text{cm}^2$ あり、容器耐圧から考えて 80°C 以上になると破裂する恐れがある。

☆高圧ガスで可燃性がある。

☆ごく弱い麻酔性がある。

☆液化ガスが皮膚に触れると、炎症や凍傷を起こす恐れがある。

有害性情報

組成物質の有害性及び暴露濃度基準

物質名	管理濃度	ACGIH (ILV)	IARC	その他の有害性
キシレン	100ppm	$434\text{ mg}/\text{m}^3$	—	(LD50:rat4300mg/kg)
エチルベンゼン	—	$434\text{ mg}/\text{m}^3$	—	(LD50:rat3500mg/kg)
ブチルアルコール	25ppm	20ppm	—	(LD50:rat530mg/kg)
n-ブチルアルコール	25ppm	50ppm	—	(LD50:rat790mg/kg)
塩素化フタロシアニングリーン	—	—	—	—
ジメチルエーテル	—	—	—	—
プロパン	—	—	—	—
ホルムアルデヒド	—	800ppm	—	(LC50:rat2632ppm)
イソブタン	—	—	—	(LC50:rat855ppm)

組成物質に関するその他の有害性情報

☆キシレンは眼に対して刺激性が強いため注意すること。

☆ジメチルエーテルには、ごく軽い麻酔性がある。また液化ガスが皮膚に触れると炎症や凍傷を起こす恐れがある。

製品に関する有害性情報

☆製品としての安全性試験は行っていない。

環境影響
情報

- ☆漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意すること。
- ☆特に、製品や洗浄水が地面や川や排水溝に直接流れないように対処すること。

廃棄上の
注意

- ☆廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
- ☆容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ☆排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。
- ☆廃塗料などを焼却処理をする場合には、珪藻土等に吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。
- ☆廃棄は、ガスを完全に抜いたのちに行うこと（噴射音がなくなるまで）。また、ガスを抜く際には火気及びミストの吸入などについて注意すること。

輸送上の
注意

- 共通：☆取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
☆容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。
☆運搬に際しては容器を 40℃以下に保ち、転倒、落下、損傷がないように注意すること。
- 陸上輸送：☆消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
- 海上輸送：☆船舶安全法に定めるところに従うこと。
- 航空輸送：☆現在のエアゾール製品は、航空法で輸送出来ないものになっており注意すること。
- 国連番号： 1 9 5 0

主 な
適用法令

- 労働安全衛生法：危険物（引火性の物）
- 労働安全衛生法：有機溶剤中毒予防規則（第2種有機溶剤等）
- 消防法：危険物 第4類第2石油類（非水溶性）
- 高压ガス取締法：適用除外（液化ガス、可燃性ガス）
- 船舶安全法：危険物（高压ガス）
- 航空法：高压ガス
- PRTR法：第一種指定化学物質
- 家庭用品品質表示法

その他

- 主な引用文献
- 「原材料物質データベース」日本塗料工業会
 - 「溶剤ポケットブック」(株)オーム社
 - 「危険防災救急便覧」
 - 「国際化学物質安全カード（ICSC）」
 - 「安全衛生対策—塗料製造業」日本塗料工業会
 - 「製品安全データシート・ガイドブック」日本塗料工業会
 - 「ザックス有害物質データブック」丸善(株)
 - 「危険物ガイド」東京法令出版
 - 「化学防災指針」日本化学会編1 丸善

[注意]

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。